

知事コメント

令和2年10月19日(月)

1. 県内の新型コロナウイルス感染症新規感染者数は、10月に入って20名前後で推移していましたが、ここ1週間は30名を超える日も出ています。本日も確定値で36名、うち宮古が5名、八重山が8名となっています。県全体で感染の広がりを注視する状況と認識している現状です。特に、宮古・八重山では感染者が急増しており、10月16日付で両地域における病床確保計画に基づく医療フェーズが最も高い「フェーズ5」に引き上げられました。離島の医療体制は脆弱であることから、これ以上の感染拡大は非常に危険であると認識をしています。

2. 感染拡大を着実におさえるためには、保健所の疫学調査により感染経路をしっかりと把握し、その感染源をつきとめることが非常に重要なのですが、県全体における新規感染者に占める経路不明者の割合が5割に近づきつつある等、どこで感染したか分からないというケースが増えています。水面下での市中感染拡大に十分な警戒が必要な状況となってきています。

そのため、本日「市中感染拡大防止の徹底」について「新型コロナウイルス感染注意報」第4報を発信いたします。

3. 社会経済活動の回復に伴い、会食・会合をはじめ外での活動が増えていると思いますが、現在は、目には見えない新型コロナウイルスとの共存が避けられない状況です。そのため、様々な活動を行う際には、その時その時で感染リスクを避ける行動を取ることが最も重要となっています。

具体的には、外出する際には常にマスクをする、なるべく人との空間的な距離を保つ、外出先でもこまめに手洗いやうがいをする、会食は少人数で行う、頻繁に換気をする、大声で会話をしない、体調がおかしいと感じた時には会合には参加しない、といった基本的な感染防止対策を徹底して継続することです。事業者の皆さまにおいては、3密回避対策にあたり、現在もがんばっていただいているとは思いますが、対面への飛沫対策のみならず、隣の席を一つ空ける等の対応もぜひお願いいたします。

4. また感染経路把握について、LINE アプリを活用した県の接触可能性お知らせシステム「RICCA(リッカ)」をぜひご活用ください。RICCAは厚生労働省の接触確認アプリ「COCOA」を補完するものであり、立ち寄った施設やイベント会場等で掲示されたQRコードをおひとりお一人が、RICCAアプリのカメラで読み込むことで、同じ時間帯に陽性者と滞在していた方に接触可能性をお知らせするものです。

5. 接触可能性を通知された方には、人と会う機会を減らす等のまず感染拡大防止を意識した行動を取って頂くとともに、もし体調不良を感じる場合には早期に最寄りの医療機関へ相談していただくことも可能となります。それにより感染拡大を抑え、着実に社会経済活動も進めていきたいと考えています。多くの県民の皆さま、事業者の皆さまにご参加いただくことで、より効果を発揮いたします。ぜひ多くの皆様にご参加いただきますようお願いいたします。

なお、現在シーサーステッカーの登録をしていただいている業者さんが5000件ほどあるそうですが、さらに業界へ呼びかけさせていただき、このお店の独自のQRコードを掲示したシーサーステッカーを店頭に掲示をしていただくこともまた広げて参りたいと思います。

6. 現在は誰でも新型コロナに感染しうる状況です。どなたも新型コロナ感染を自分事(ごと)として捉えていただき、自分からウイルスを運ばない、自分からウイルスをうつさない、という常に自分の側からそのような意識を持っていただき、引き続き、県民一丸となった感染防止対策の継続をしっかりと努めていただきますよう、ご協力をお願いいたします。